

ね、この本よんだ？



2022年度



図書館で発行している『としょかん通信』でご案内した
「あたらしい子どもの本」のリストです。

絵本、読みもの、テーマ本の三つの柱にわかれた
ブックガイドとなっています。

紹介した本は、図書館で貸出ご利用いただけます。

このリストが、子どもたち、そして大人のみなさんにとっても
素敵な本との出会いのきっかけになりますように。



久留米市立中央図書館



『プールのくまのこ』

種村有希子／作
アリス館



くまのまようがおきにいりのれいちゃんのプール。なつやすみのあさ、れいちゃんがプールにみずをいれてあそぼうとしたら、プールのようすがおかしくて…。のぞいてみるとプールのなかで、くまたちがおよいでいました。れいちゃんは、おあはなをうかべたり、おやつをあげたり、くまたちといっぱいあそびます。読んでるとこっちまで楽しくなる、夏におすすめの一冊です。

『なんでもかいけつ！』

テレビマンポルフ』
高島じゅん子／作
高島純／絵
教育画劇



よーし！しゅざい、しゅざい！今日もオモロテレビのテレビマン、ポルフは情報番組を作るためにどうぶつむらの住民たちから寄せられたお便りを読み、取材に出かけます。色々などぶつたち取材をしていると、寝ている間に大事な毛をかられるという被害が何人にも起きているというではありませんか！犯人は一体なぜこんなことを？みんなも一緒に考えてみてください。

『ひみつのもりのいちねん』

柴田晋吾／作
竹上妙／絵
本井英／俳句
くもん出版



ある日、おじいさんと一緒に森にやってきたあらた。秋のもみじ、どんぐりにカラスウリ。冬の落ち葉、池のカモ、雪。季節に合わせて変化する森の様子を、やさしい言葉で伝えあう二人。「みどりはあかやきいろにへんしんだ」あらたが言うと「めをとじてみてももみじのまっかかな」とおじいさんが返します。ことばを使って季節を味わう方法をそと教えてくれる絵本です。

『まるがいろいろ』

林 木林／作
庄野 ナホコ／絵
小さい書房



とにかくみんなまるが好き。まるはかわいい、まるは美しい、いいね、いいね、いいねと世の中なんでもまるになった。なんでもまるくすればみんな喜んで買った。ところが、まるの人気はあつという間に転がり落ちてしまって…。おもしろがりながら、一方で流行とは何かを考えさせる絵本です。

『ぬいぐるみきゅうじょたい』

ティエリー・ロブフレヒト／文 川野太郎／訳
ディヴィッド・B. ドレイパー／絵 岩崎書店



ベビーカーからクマのぬいぐるみがポトン！持ち主の子は気づかないみたい。帰り道もわからず、けがをしてしまいます。その様子を「ぬいぐるみきゅうじょたい」のネズミさんが見ていました。ただちにほんぶにれんらくして、けがをしたクマくんをきゅうきゅうしゃではこびます。はてさて、まいごのクマくんはおうちに帰ることができるでしょうか？

『あの子は ぼくらのスパースター』

フラン・ピンタデラ／文
ラクウェル・カタリーナ／絵
せなあいこ／訳
評論社



サッカーチームのエース、マダーニくんはいつも裸足で試合に出ます。プリキの缶にこつこつお金を貯めるマダーニくん。「きっとサッカーシューズを買うんだ！」とチームメイトの期待はふくらみますが、試合の前日、マダーニ君が買ったのは、大切なママへの贈り物でした。マダーニ君の想いは、みんなに伝わるのでしょうか？ 優しさあふれるおはなしです。

『いつまで いっしょ？』

クリストファー・チェン／文
スティーブン・マイケル・キング／絵
なかがわちひろ／訳
国土社



パンダさんとネズミちゃんはとても仲良し。いつもどんな時でも一緒に過ごします。でも、ネズミちゃんは時々不安になってパンダさんにたずねます。「わたしがなにかいけないうことをしちゃっても、てをつないでくれるかな？」「もちろん」パンダさんの大きな愛に包まれる絵本です。

『パライパンマンマ』

イ ジウン／作・絵
申 明浩／訳
広松 由希子／訳
ポプラ社



マシュマロン村では、小さなマシュマロンたちがのんびり暮らしています。ある日、突然現れた黒くて大きなモジャモジャが「パライパンマンマ」と叫んでいます。きっとマシュマロンをうまうまくってやると言っていると思い、モジャモジャと戦う準備をはじめます。モジャモジャが伝えたかったことはなんでしょう？ マシュマロンたちとモジャモジャのふれあいを楽しめる1冊です。

『だいじょうぶくん』

魚住直子／作
朝倉世界一／絵
ポプラ社



新しいクラスになじめない「そ
うた」が出会ったのは、人と話
ができるぬいぐるみの「だいじょ
うぶくん」。

売られてしまっただいじょうぶ
くんから、はなればなれになっ
てしまった、持ち主の「まりちゃ
ん」を一緒に探してほしいとた
のまれます。

そうたとだいじょうぶくんの、
心がやさしくなる冒険のお話
です。

『いのちの木のあるところ』

新藤悦子／作
佐竹美穂／絵
福音館書店



トゥーラーンは、物語に憧れ
るお姫様。成長し、物語のよう
にならない現実を知っていく中
で、それでも自分もみんなのた
めになにかをしたいと思います。
トルコの世界遺産にもなってい
る「ディブリーの大モスクと治癒
院」が舞台となるこのお話は、
それをめぐる人々の物語であり、
壮大な歴史物語でもあります。
読書の秋にぴったりの、読み応
えたっぷりの物語はいかがです
か？

『おなかをすかせたドラゴンとためいきゼリー』

仁科幸子／作
あすなる書房



家の庭で出会ったラッ
キードラゴンの大好物は「た
めいき」です。黒ネコはラッ
キードラゴンのために、『た
めいきありませんか？大きく
深いためいき、大歓迎！』と
書かれた看板を置き、ため
いき一つにつき、ハッピーに
なれる特製の水アメを一つ
渡します。ですが、深いため
息を吐くネコが減ってきました。
どうしてでしょう？みんな
にとってなにが大切な事を
教えてくれる物語です。

『魔女のなみだのクッキー』

草野 あきこ／作
ひがし ちから／絵
PHP研究所



リコのおばあちゃんは、おか
し屋さん。この頃お店が忙しく
て、リコの話聞いてくれない
ので、リコは不満に感じていま
した。ある日、道を歩いている
と、魔女のクッキー屋さんに声
をかけられます。魔女から、食
べると不幸な気持ちになる「な
みだのクッキー」をもらったリコ
は、おばあちゃんにわたすた
めに、おばあちゃんのお店に
向かうのですが…。

『シオンの花言葉』

濱野京子／作
ゆの／絵
講談社



小学5年生の実花の家はコンビニ店を営んでいます。お店のアルバイトは、ベトナムからきた留学生ランさん。ある日、ランさんの友だちが、実花の家のコンビニで働きたいとやってきますが、「技能実習生」のため、ランさんと同じように受け入れるわけにいかず…。留学生や技能実習生、難民など様々な事情や目的で日本に来る人々について考えます。

『きみもできるか!? 天才科学者からの挑戦状
はじめての科学実験図鑑』

マイク・
バーフィールド／作・絵
岡フリオ朋子／訳
ポプラ社



アインシュタインやダーウィン、エジソンなどの有名な天才科学者たちがどんなことを成し遂げたのか、それにまつわるエピソードなどのおはなしとともに、科学者たちが行った実験を紹介しています。身近なものを使って無理なくできる同様な実験のアイデアに挑戦して、楽しく科学知識に触れることができます。

『すかしてビックリ！手のしくみ』

イダン・ベン＝バラク／作
ジュリアン・フロスト／作
宮坂宏美／訳
あすなる書房



ともだちのニョリーのたんじょうかいにポヨンとモクモクがうちゅうせんで向かっていると、たいへん！エンジンを落としてしまいました！ちょっとよりみちしてうちゅうせんを修理することになりました。困っているふたりをあなたがお手伝いしてくれませんか？エンジンを押ししたり、持ち上げたり、協力するうちに手のしくみが楽しく学べる本です。

『今日からみんなで 環境調査隊 1』

畠 佐代子／監修
くもん出版



身近なことから、環境問題を考えて取り組むことを目的とした本です。環境問題を学んでも、自分が実際に何から始めたらいいいのか、わからないと思う人が多いと思います。自分の身近な環境を知って考えて、知識を行動に移すことが大事だとこの本は教えてくれています。みなさんのまわりの人々と、この本を読んで環境問題について、おはなしをしてもらえたらと思います。